

承認番号 RD6909-005-0

文書番号 21098883

2021年9月29日

木質系直張り遮音床材用接着剤
フローウッドMS試験成績書

1. 目的

木質系直張り遮音床材用接着剤「フローウッド MS」の接着性能試験を行った。

2. 試験項目

2.1 接着強度試験(JIS A 5536 に準ずる)

3. 供試材料

床材 : 緩衝材(カルプ材)裏打ち複合フローリング材(40mm 角にカットしたもの)
下地材 : フレキシブル板(70×180mm、t=8mm)

4. 試験方法

4.1 試験体の作成

標準状態(23±2℃、50±10%RH)において規定のくし目ごて(幅×高さ×ピッチ:4.0×4.0×15.4mm、V ノッチ)により接着剤を下地材に塗布後、すぐに床材、鋼製アタッチメントを載せ、その上から1Kgのおもりを5秒間載せ圧着し試験体とした。養生中は鋼製アタッチメントを床材の上に載せたまま養生した。

4.2 養生条件

常態 : 標準状態 7 日養生後測定した。
耐熱 : 標準状態 7 日養生後、80±2℃雰囲気下 7 日養生、標準状態 1 日静置後測定した。
水中浸せき : 標準状態 7 日養生後、23±2℃水中浸せき 7 日養生後取り出してすぐに測定した。

4.3 測定条件

テンシロン万能試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。

5. 試験結果

5.1 接着強度試験

試験結果を表 1 に、破壊の位置及び記号を図 1 に示す。

表 1. 接着強度試験結果(JIS A 5536 に準ずる)

	接着強さ N/mm ²	破壊状態 %
常態	0.67	F68AF32
耐熱	0.76	F100
水中浸せき	0.45	F98AF2

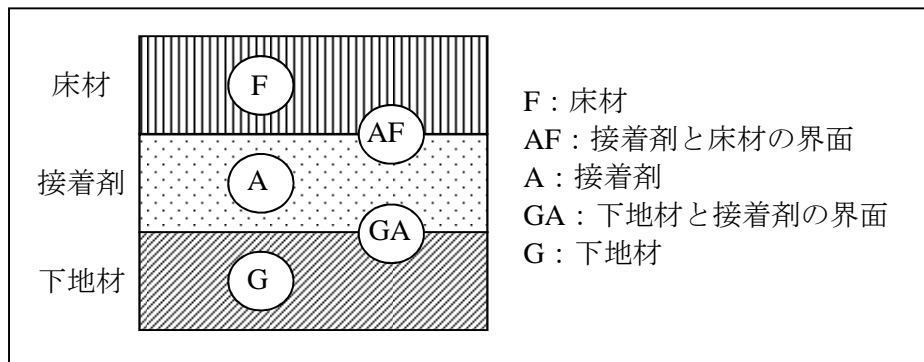


図 1. 破壊の位置及び記号

6. 判定基準

JIS A 5536 木質系床材（緩衝材裏打ち）の接着強さの判定基準を表2に示す。

表2. JIS A 5536 木質系床材（緩衝材裏打ち）判定基準*

引張接着強さ 試験	常態	0.3N/mm ² 以上
	耐熱	0.3N/mm ² 以上
	水中浸せき	0.3N/mm ² 以上

*接着強さはこの値未満の場合でも、その最大面積を示す破断の位置が F または G であれば合格とする。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、じゅうぶん信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。

作成:2021年9月29日(文書番号:21098883)

改訂:-